

# エムエスピーの履歴書

⑤

水谷政司

オフコンとは？

年代が高い方はご存じだと思いますが、オフィスコンピュータの略です。

日本独自の仕様で中小企業の事務処理に特化した思想のコンピュータとして1990年代まで存在いたしました。

## 歴史アーカイブス

COBOLという言葉を利用してプログラムが成り立つことが多く、WINDOWSの高度化と定着により、サーバーに取って代わるまでの短い期間ではありましたが、一世を風靡したコンピュータの一群でした。  
COBOLはCommon Business Oriented Languageの略で、誰でも覚

んでした。

ちなみにBASICはbeginners' all-purpose symbolic instruction codeの略で素人でも簡単に記述できる言語と言われていましたが、結果どちらの言語も一般の人には大変難しい言語であり、習得には多くの時間と忍耐が必要でした。

えられるとして開発された事務処理用言語だと覚えていきます。  
一方パソコンはパーソナルコンピュータの略称で1980年ころか

## オフコンとパソコン、言語と簡易言語

パソコンは『おもちゃ』と言われた時代でした

ら急激に普及したコンピュータ群であり、BASIC言語を内蔵している場合が多くCOBOLもBASICも『すぐに覚えられる』がうたい文句でしたがそんなに簡単に覚えられないものではありませ

に軍配が上がりオフコン・パソコンの市場における人気度の優劣が決まってしまうました。

私はオフコン・パソコンのどちらも黎明期

前号で言う『OAの立会人』が殊更必要であることが理解できました。

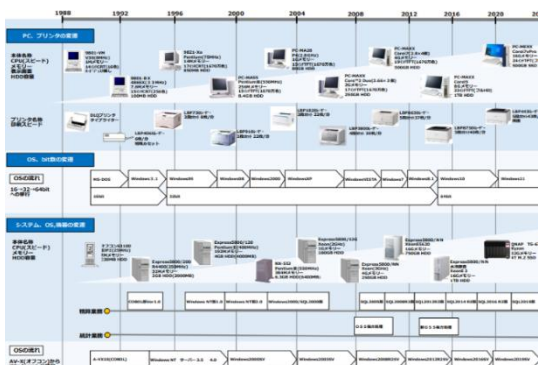
機能を持ったパソコンと大量処理を基本とするオフコンとは一線を画することが必要であると思います、パソコンにおける登録業務につきましては、次回以降に説明いたします。

オフコン、パソコン、COBOL、BASIC、簡易言語の経

験が今のエムエスピーの基となっていることは間違いのない事実となります。

参考までに、表はエムエスピー設立時からの両機種の変遷を表しています。

(エムエスピー相談役)



から成熟期にかけて販売や企画、システム構築の第一線にありました関係上、両者の優劣や得手不得手などを経験しておりますので